

館長室へようこそ⑰ 最近ハマっているもの

図書館長 古川 聡

大学のキャンパスを歩きながら空を見上げると、飛行機が西に向かって飛んでいく姿が見える。かなり高度が高いが、尾翼の色から航空会社や、エンジンの数から機材などがある程度推測できる。だが、目的地まではわからない。そこで最近ハマっているのが、『フライトレーダー24』というサイトである。世界中で今この瞬間に飛んでいる飛行機の便名や機材、目的地、飛行距離や時間など詳細な情報がパソコン上で即座にわかる優れたものである。世界中でこれほどまでに多くの飛行機が飛んでいるのかと驚くほどで、とくにアメリカやヨーロッパ、それに東アジアでは飛行機のマークが折り重なって示され、経済活動の活発さが手に取るようにわかる。なかなか海外に出かける時間はないが、あたかも自分も機中の旅行者のような気分になるので、数日に一回はこのサイトを思わず開いてしまう。

想像力を駆使して地図から風景を思い浮かべなくても、今ではグーグルマップをみれば土地の活用状況や街並みが一目瞭然である。建物の色や形もストリートビューでわかってしまう。大多数の人には非常に便利だろう。だが、地図好きからすると、想像する楽しさを奪われてしまったようで、つまらない。かつて地中海沿いを鉄道に乗って旅した時、当然のことなのだが、地図をもとに気候や地質の情報を加味して想像していた通りの石灰岩の白っぽい地形や深緑のオリーブ畑が広がっていて、とても楽しかった。

デジタル化により膨大な情報が提供され活用されている。だが、自ら想像力を駆使することも、さらには理解するのに必要な周辺情報を収集することもしなくなってしまう。ただ与えられる情報を鵜呑みにしていいのかわからない。情報化時代だからこそ、情報収集力、その情報を自ら確かめ判断する目をより高めていきたいと考えている。

図書館のう・ご・き..... 耐震工事報告②

いよいよ耐震工事がスタートしました。まずは、①4号館外周のアウトフレーム補強工事、②3階・4階の耐震補強と改修工事が始まります。今回は、工事の図書館への影響と図書館の利用についてお知らせします。

<図書館への影響について>

- 4号館の外周は足場とメッシュシートで覆われます。
- 図書館北側（線路側）に臨時の工事車両出入口や現場事務所などがつくられ、4号館の周りには仮囲いも設置されます。
- 閲覧室では工事音と震動等の影響が予想されます。また、足場やシートの設置で室内は今よりも暗くなります。

<図書館の利用について>

- 以上のようにさまざまな工事の影響はありますが、2015年12月まで現在の1階・2階で通常どおり開館します。
- ただし、大きな音や振動、埃が発生する作業は、8月の夏休み期間中に集中して行うため、8月中の利用は制限される可能性があります。
- 夏休み前は、8月4日まで開館します。夏休み以降のスケジュールは、図書館HPや掲示等でお知らせします。

約40年ぶりの図書館のリニューアル。図書館がどのように変わるのか、楽しみです！
改修後の姿は次回のこのコーナーでお知らせします。